



鹿骨中だより

江戸川区立鹿骨中学校

<http://edogawa.schoolweb.ne.jp/shishibone-j/>

教育目標

- ・みずから学び、考えて行動する生徒
- ・思いやりのある豊かな心をもった生徒
- ・健康で明るく、勤労と責任を重んじる生徒

学びと成長

校長 大谷 雅也

先日、2年生が言葉の暴力について考える機会がありました。

その振り返りで次のように書いてくれました。

「無責任な発言があることで、人が傷つかななくてはならないのは残念です」

「暴言を言って相手を傷つけたりするのはやめてほしい」

「悪口を言われる人が悪いみたいなことを言う人がいるけれど、0:10で悪口を言う人が悪いと思います」

言葉の大切さをよく理解していることにうれしい気持ちになりました。

無責任な言葉は、暴力となり人を深く傷つけます。

先月亡くなった谷川俊太郎さんは、多くの言葉を編み続けたにも関わらず、言葉を疑い、言葉を信じていない、と言っていたそうです。きっと言葉の難しさ、つまり、言葉は時に、人を傷つけるものになる、ということを知っていたからだと思います。

人類にとって言葉は、進化の大きな武器であり、知識や文化の発展を支えてきました。

また、言葉は、感情や考えを繊細に表現することができ、人々の中の共感や信頼を深めることができる。

かけがえのないものです。

私たちは、言葉を知り、正しく使う技術を身に付ける必要があります。さらに深い思考と判断をもって、言葉を使うことが求められます。学ぶ意義はここにあるのだと思います。

先ほどの2年生の振り返りには次のような意見もありました。

「変わるチャンスはあると思うし、協力してあげたい」「どんな人でも人の心情を予想できるようになれる」可能性を信じ、共に生きていこうとする強い心を感じました。

子どもたちの言葉は未熟です。家庭や地域でも言葉の大切さを教えていただければうれしいです。

生きる
谷川俊太郎

生きていくといつか
いま生きていくといつか
それはのどがかわくという
木もれ陽がまじしいという
ふつと或るメロイを思い出すという
くしゃみすること
あなたと手をつなぐこと

生きていくといつか
いま生きていくといつか
それはミニスカート
それはブラネタリウム
それはヨハン・シュトラウス
それはピカソ
それはアルプス
すべての美しいものに会おうと
そして
かくされた悪を注意深くこぼすこと

生きていくといつか
いま生きていくといつか
いま遠くで犬が吠えるという
いま地球が廻っているという
いまどこかで産声があるという
いまどこかで兵士が傷つくという
いまどこかでゆれてるという
いまいまが過ぎてゆくこと

生きていくといつか
いま生きていくといつか
鳥ははははたたくという
海はどろどろという
かたつむりははうという
人は愛するということ
あなたの手のぬくみ
いのちということ

12月の主な行事予定

| 日 | 曜 | 行事予定 |
|----|---|--------------------|
| 1 | 日 | |
| 2 | 月 | 全校朝礼 三者面談(始) 45分5h |
| 3 | 火 | |
| 4 | 水 | |
| 5 | 木 | |
| 6 | 金 | |
| 7 | 土 | |
| 8 | 日 | |
| 9 | 月 | 三者面談(終) |
| 10 | 火 | 専門委 |
| 11 | 水 | 職員会議 |
| 12 | 木 | |
| 13 | 金 | 鹿骨東小研究発表会 |
| 14 | 土 | |
| 15 | 日 | ESAT-J YEAR3予備日 |
| 16 | 月 | 生徒会朝礼 避難訓練 |
| 17 | 火 | |
| 18 | 水 | 校内研修会(ICT) |
| 19 | 木 | 2年学年指導 |
| 20 | 金 | 3年学年指導 |
| 21 | 土 | |
| 22 | 日 | |
| 23 | 月 | 1年学年指導 |
| 24 | 火 | 大掃除ボランティア 給食(終) |
| 25 | 水 | 終業式 職員会議 |
| 26 | 木 | 冬季休業日(始)~1/7 |
| 27 | 金 | |
| 28 | 土 | |
| 29 | 日 | 年末年始閉庁日(始)~1/3 |
| 30 | 月 | |
| 31 | 火 | |

生徒の活躍

<ハンドボール部>

◎東京都秋季ハンドボール新人大会

男子 第3位

女子 ベスト8

◎第33回 JSC ジュニアセレクトカップ全国大会

令和6年12月20日(金)~24日(火) 長野県千曲市

2年女子 東京都選抜 代表選手として出場

<バドミントン部>

◎東京都中学生冬季バドミントン大会江戸川区予選会

令和6年12月1日(日)

男子ダブルス 4位 2年、2年

ブロック大会出場

【顧問コメント】 声を出し、自分たちの力を出し切りました。ブロック大会に期待しています。

<サッカー>

◎2024 関東トレセンキャンプU-14

令和6年12月13日(金)~15日(日)那須スポーツパーク

2年 男子 代表選手として出場

<一輪車>

第13回野田市一輪車競技大会(主催 野田市一輪車協会)

100m走 第3位 100mファイナリスト 第3位 1年

本校の区教育課題実践推進校発表が「日本教育新聞に掲載されました。」



11月に行われた区教育課題実践推進校の授業公開と研究発表会が「日本教育新聞2024年11月18日(月)号」に掲載されました。

研究発表会では、生徒代表として3年生2人が発表しました。また、PTA 副会長さんから保護者の声を発表していただきました。

<研究発表会 生徒の鹿骨中の授業についての発表>

「鹿骨授業スタンダードを3年間受けて、私は本時の目標と毎時間どこに向かって学習すべきかが分かり、プリントなどで、次回の予習や復習ができて、学びを定着させることができました。自分から周りの人と意見を交換したり、教え合ったりして、充実した時間を過ごすことができるようになりました。自ら学ぶ力をつけることができましたと思います。」

「私は、3年間鹿骨中学校の授業を受けて、初めてゴールを示して学習することを学びました。小学生の頃は、勉強は終わりがいいからいやだと思っていました。しかし、ひとつひとつにゴールを決めることで実力がついたと実感できるようになりました。そのおかげで私は、「なぜ」を追求するようになりました。私は楽しいと思える授業を受けられています。これからも、安心感のある授業を求めます。」